

エンジョイ！バレーボールフェスティバル 2026 実施要項

1. 大会の趣旨

団員にスポーツの喜びを経験する機会とより伸びるための研修の場を与え、バレーボールを通じて団員相互の交流を深め、仲間意識と連帯を高めることにより、スポーツ少年団活動を一層豊かなものとし、地域における団活動の活性化を図ることを目的として実施する。

2. 主 催

公益財団法人日本スポーツ協会日本スポーツ少年団
公益財団法人日本バレーボール協会
一般社団法人日本小学生バレーボール連盟
公益財団法人茨城県スポーツ協会茨城県スポーツ少年団

3. 後 援(予定)

スポーツ庁、茨城県、茨城県教育委員会、筑西市、筑西市教育委員会、結城市、結城市教育委員会、古河市、古河市教育委員会

4. 協 賛

株式会社ミカサ

5. 支 援

独立行政法人日本スポーツ振興センター

6. 協 力(予定)

茨城県バレーボール協会
茨城県小学生バレーボール連盟
公益財団法人ヨネックススポーツ振興財団

7. 主 管

エンジョイ！バレーボールフェスティバル 2026 茨城県実行委員会

8. 開 催 期 間

- (1) 男子 令和8年12月25日(金)～12月27日(日)
- (2) 女子 令和8年12月25日(金)～12月28日(月)

9. 会 場

- 【開会式】 ザ・ヒロサワ・シティ体育館(筑西市上平塚 627)
- 【試合会場】 ザ・ヒロサワ・シティ体育館(筑西市上平塚 627)
かなくぼ総合体育館(結城市鹿窪1)
ゴヨーふれあいスポーツセンター(古河市仁連 2042-1)
- 【閉会式】 男子 ゴヨーふれあいスポーツセンター(古河市仁連 2042-1)
女子 ザ・ヒロサワ・シティ体育館(筑西市上平塚 627)
かなくぼ総合体育館(結城市鹿窪1)
- 【宿舎】 各チームにて、宿泊の手配を行うこと。
※名鉄観光サービス株式会社からの斡旋あり。

10. 開会式

令和8年12月25日(金)14:00～

※参加全選手はユニフォームで参加すること。

11. 大会日程

12月25日(金) 開会式、団員・指導者交流、指導者ミーティング、団員ミーティング

12月26日(土) 男子リーグ戦1日目、女子リーグ戦1日目

12月27日(日) 男子リーグ戦2日目、閉会式(男子)

※男子の閉会式はユニフォームで参加すること。

女子リーグ戦2日目(ブロック別)

12月28日(月) 女子決勝トーナメント(ブロック別)、閉会式

※閉会式にはユニフォームで参加すること。

※指導者会議は、12月上旬にオンラインにて開催予定。

12. 参加チーム数および人数とその選出

(1) 参加チーム数および人数

女子 48 チーム(1 チーム15名以内) 計 720 名

男子 10 チーム(1チーム15名以内) 計 150 名

(2) 選出方法

参加チームの選出方法は、各都道府県内において協議し決定すること。

また、男子については各ブロックにおいて協議し決定すること。

① 女子の参加チーム

女子の参加チームは各都道府県 1 チームの計47チームと開催県より 1 チームの合計48チームとする。ただし、不参加県があった場合、前年度バレーボール登録女子団員数の順位により追加チームの参加を認める。なお、この場合、同一市区町村より2チーム参加することは認めない。

② 男子の参加チーム

全国9ブロック(北海道、東北、関東、北信越、東海、近畿、中国、四国、九州)より代表 1 チームと開催都道府県代表 1 チームの合計10チームとする。

13. チーム編成

(1) 指導者は原則として、監督、コーチの計2名とする。ただし、やむを得ない事情により、どちらか1名が参加できない場合、監督1名のみでの参加を認める。なお、指導者は、2チームを兼任することはできない。

(2) 団員(選手)は、計12名までとする。

(3) マネージャーは1名とする。なお、やむを得ない事情により、指導者の1名が参加できない場合、チームの安全・管理の観点から、マネージャーは「14. 参加資格(3)マネージャー」を満たす20歳以上の者であることが望ましい。

(4) 指導者(監督・コーチ)、団員(選手)およびマネージャーについては、スポーツ少年団登録システムにおいて同一の単位団所属であること。

(5) 大会期間中における指導者(監督・コーチ)およびマネージャーの交代については、特別な事情があり、かつ、主催者が認めた場合に限り可能とする。

- (6) 本フェスティバルは、日常的にスポーツ少年団の理念に基づいて活動している単位団の交流を目的としているものであり、本フェスティバルに参加することをだけを目的に編成した単位団や、勝利至上主義(※)に基づき選抜、構成された単位団による参加は認められない。都道府県スポーツ少年団は推薦する単位団の日頃の活動状況について確認すること。なお、日本スポーツ少年団は都道府県スポーツ少年団に対して、日ごろの活動状況について確認する場合がある。

※ 勝つことのみを至上(この上ないもの)として位置づける考え方

(勝つためには子どもの心身の発育発達を妨げる過度な練習を課すことや暴力・暴言等の不適切な指導が容認されるといった様々な弊害をもたらすもの)

14. 参加資格

(1) 指導者(監督・コーチ)

以下の条件を全て満たすとともに、集団指導の能力に優れ、所属都道府県スポーツ少年団本部長が推薦する者。

- ① 令和8年度、日本スポーツ少年団に「指導者」として登録している者。
- ② スポーツ少年団の理念を学習した者(令和元(2019)年度スポーツ少年団認定育成員・認定員登録者またはスタートコーチ(ジュニア・ユース)資格保有者)
- ③ 指導者(監督・コーチ)のうち1名は、令和8年度日本スポーツ少年団登録時にJVA ベーシックコーチライセンス、日本小学生バレーボール連盟認定指導者または公益財団法人日本スポーツ協会公認バレーボールコーチ1~4、バレーボールスタートコーチのいずれかの資格を保有する者であること。なお、試合時にはそれらを証明する証明書等を所持すること。

(2) 団員(選手)

以下の条件を満たす者で、所属都道府県スポーツ少年団本部長が推薦する団員。

- ① 令和8年度、日本スポーツ少年団に「団員」として登録している小学1年生以上、6年生以下の者。(令和8年4月1日現在)
- ② 集団生活に際し、規則正しい行動のとれる者。

(3) マネージャー

令和8年度、日本スポーツ少年団に「指導者」「役員」「スタッフ」または「団員」として登録しており、所属都道府県スポーツ少年団本部長が推薦する者。

(4) その他(審判員)

リーグ戦の副審は相互審判にて行うため、参加チームはスポーツ少年団登録システムにおいて同一の単位団の中から審判員を1名選出すること(上記「指導者」「マネージャー」として登録する者が副審を務めることも可能)。

なお、相互審判に当たる者は「公認審判員」の資格を有するものが望ましいが、チーム内に資格保有者がいない場合は、指導者資格取得の際、審判についての講義を受講しているか、地区大会等で審判の経験のある者とする。

また、ラインジャッジについては、別添「エンジョイ! バレーボールフェスティバル2026 競技方法および競技規則等確認事項」2.(6)に定めるとおりとする。

15. 参加料

1 チームあたり 5,000 円

※支払いについて、「22. 参加申込」を参照。

16. 競技規則

公益財団法人日本バレーボール協会の定める2026年度版6人制競技規則及び競技要項に準ずる。

ただし、別に定める小学生バレーボール競技規則を採用する。また、別に示す「エンジョイ！バレーボールフェスティバル2026競技方法および競技規則等確認事項」を遵守する。

本交流大会の参加にあたり、不適切な行為（不正エントリー、スポーツ・ハラスメント等）が判明した場合主催者の判断により、当該チームの出場取り消し、当該行為に携わった者の処分等を行う場合がある。

17. 使用球

公益財団法人日本バレーボール協会が公認する小学生バレーボール4号検定球（ミカサV400W-L）

18. 競技服装

- (1) 団員（選手）の背番号は1～99までとするが、1～12までが望ましい。また、色等の異なる2種類以上のユニフォームを用意すること。
- (2) 指導者およびマネージャーの服装は統一されたものとし、短パン・Tシャツは不可とする。ただし、団員がマネージャーの場合はこの限りではない。
- (3) 監督・コーチならびにマネージャー章は、各チームで用意し左胸につけること。
- (4) 出場チームが支援を受けている企業・店舗等（チーム協賛社）の名称やロゴをユニフォームや用具に掲出することはできない（ユニフォームや用具を製作した企業の名称やロゴを除く）

19. 競技方法

大会の方法は、別に定める「エンジョイ！バレーボールフェスティバル2026競技方法および競技規則等確認事項」に基づき実施する。

20. 組合せ

男子リーグ戦および女子リーグ戦（1日目・2日目）の組合せについては、大会実行委員会が責任抽選を行い、各都道府県当該チームに通知する。

21. 表彰

- (1) 女子の各ブロック1位（4チーム）、男子の各組1位（2チーム）には、優勝杯、賞状、メダルを授与する。
- (2) 女子の各ブロック2位（4チーム）、男子の各組2位（2チーム）には、賞状、楯を授与する。
- (3) 女子の各ブロック3位（8チーム）には、賞状を授与する。

22. 参加申込

＜単位スポーツ少年団→都道府県スポーツ少年団＞

所定の申込書（参加者名簿・審判員名簿）により都道府県スポーツ少年団に申し込むこと。

※詳細については所属市区町村・都道府県スポーツ少年団に確認すること。

＜都道府県スポーツ少年団→日本スポーツ少年団＞

- ・ 令和8年10月30日（金）までにスポーツ少年団登録システムから日本スポーツ少年団宛に申し込むこと（参加者および審判員をそれぞれ申し込む）。
- ・ 申込と併せて参加料（1チームあたり 5,000 円）を都道府県スポーツ少年団へ送付する開催通知文書に記載の口座まで振り込むこと。
- ・ 以下の場合を除き、参加料は返金しない。
 - ・ 主催者側の都合により、大会前に開催中止が決定した場合
 - ・ 参加料が重複して振り込まれた場合 ※振込手数料を除いた額を返金

23. 携行品

- (1) バレーボール用具一式
- (2) 大会期間中の生活用品等
- (3) 常備薬
- (4) 被保険情報確認書類(医療保険の資格情報の写し、資格情報のお知らせの写し、資格確認書の写しのいずれか ※別紙「参加者の被保険情報の確認方法について」参照)
- (5) 交歓用記念品[参加者は1人1個、各都道府県で統一した民芸品等(500～1,000円程度)を用意すること]

24. 傷害保険

大会期間中(前後の各移動日を含む)公益財団法人日本スポーツ協会は、「エンジョイ！スポーツフェスティバル開催基準要項」に基づき、参加者全員を被保険者とした傷害保険に加入する。

(1) 支払われる保険金

- | | |
|-----------|----------------------|
| ① 死亡保険金 | 200万円 |
| ② 後遺障害保険金 | 後遺障害の程度に応じて6万円～200万円 |
| ③ 入院保険金 | 日額 3,000円(180日限度) |
| ④ 通院保険金 | 日額 2,000円(90日限度) |

(2) 保険金の支払いについては、事故による傷害が対象となり疾病は対象とならない。

事故による傷害の場合、その治療費は被保険者本人が治療完了まで支払い、その後本人が所定の保険金請求手続きを行うことにより保険金が支払われる。

なお、その他保険金支払いにかかる詳細については、傷害保険普通保険約款および国内旅行保険金特約条項による。

25. 個人情報及び肖像権の取扱い

(1) JSPO は、大会開催にあたり、以下の目的のために個人情報を取得する。

- ① 大会の申込み手続き及び参加資格審査
- ② 大会運営上必要なプログラム編成及び作成
- ③ 大会時のアナウンス
- ④ 大会結果掲載にかかわること(表彰、掲示板、ホームページ、大会記録集、報道等)
- ⑤ 大会運営に必要な連絡
- ⑥ 大会関係機関・団体またはJSPOに認められた企業からの情報提供

(2) JSPO は、個人情報を以下のとおり共同利用する。

共同して利用される個人情報の項目	- 参加申込書に記載されている情報 - 大会中に取得した情報(大会結果、大会中に撮影した写真および映像)
共同して利用する者の範囲	●主催・主管団体 - 公益財団法人日本スポーツ協会日本スポーツ少年団 - 公益財団法人日本バレーボール協会 - 一般社団法人日本小学生バレーボール連盟 - 公益財団法人茨城県スポーツ協会茨城県スポーツ少年団 - 茨城県バレーボール協会 - 茨城県小学生バレーボール連盟 - エンジョイ！バレーボールフェスティバル2026茨城県実行委員会
共同して利用する者の利用目的	●主催・主管団体 上記(1)に記載の内容

個人情報の管理責任者	公益財団法人日本スポーツ協会 会長 遠藤利明 東京都新宿区霞ヶ丘町 4 番 2 号
------------	--

- (3) JSPO は、本大会の申込手続きにあたり、参加者の所属する都道府県スポーツ少年団を申込受付の窓口として指定し、同団体は、JSPO が定めた利用目的および取扱方法の範囲内で個人情報を受領し、JSPO に提出する。
- (4) 大会結果(記録)は、参加申込書に記載されている情報(氏名、所属スポーツ少年団)とともに主催者及び主管団体を通じた公開、大会関係機関・団体及び報道機関等による新聞・雑誌および関連ホームページ等への掲載、次回以降の大会プログラムへの掲載等で公表することがある。
- (5) 大会関係機関・団体又はこれらに認められた報道機関等によって撮影された写真、映像が新聞・雑誌・報告書および関連ホームページ、インターネット等によって掲載されることがある。
- (6) JSPO に認められた写真撮影企業が大会中に撮影した写真は、大会参加者・関係者の間で閲覧および購入の対象になることがある。
- (7) 参加チーム名および参加者氏名の情報は、グラフィックパネル(参加チーム集合写真パネル)の作製のため、JSPO に認められた写真撮影企業へ提供される。
- (8) JSPO は、本人またはその代理人から、保有する個人情報について、開示、訂正、追加、削除、利用停止、消去の請求があった場合、法令に則って、所定の手続に従い、誠意をもって対応する。また、本人から利用目的の通知を求められたときは、本人に対し、法令に則って、所定の手続に従い、遅滞なく通知する。これらの請求については、JSPO 少年団課(jjsa@japan-sports.or.jp)まで連絡すること。
- (9) JSPO の個人情報保護方針は以下 URL から確認すること。

<https://www.japan-sports.or.jp/privacy/policy.html>

26. キャンセル料の取扱

参加チーム(個人)が手配・負担する費用のキャンセル料について、主催者はその責任を負わない。

※ 天災地変や伝染病の流行、大会会場・輸送等の機関のサービスの停止もしくは官公庁の指示等の主催者が管理できない事由により大会中止となった場合等を含む。

27. その他

- (1) 団員(選手)の健康については、指導者および保護者が十分に注意を払い出場させること。
- (2) 練習用コートは準備していないため、注意すること。
- (3) 大会実施に向けた各種調整に伴い、本実施要項の内容に変更が生じる場合がある。
- (4) 本交流大会の参加にあたり、不適切な行為(不正エントリー、スポーツ・ハラスメント、主催団体が定める規程違反、法令違反等)が判明した場合、主催者の判断により、当該チームの出場取り消し、当該行為に携わった者の処分等を行う場合がある。



スポーツ振興基金助成事業
公益財団法人日本スポーツ協会

本大会は、スポーツ振興基金助成活動の一環として実施しており、このスポーツ振興基金の助成金は、政府からの出資金とスポーツ振興基金支援企業グループからの寄付金を財源とし、その運用益により助成金が支払われます。

NO!
スポハラ

～スポーツ・ハラスメント(暴力・暴言・ハラスメントなど)に、

みんなが『NO!』と言う社会を目指して～



エンジョイ！バレーボールフェスティバル2026

競技方法および競技規則等確認事項

1. 競技方法

【女 子】

- (1) 各都道府県47チームに開催県の1チームを加えた48チームにて、リーグ・トーナメント形式にて実施する。リーグ戦はすべてのチームが、1日2試合を行い、上位16チームを4ブロックに分けてトーナメント戦を行う。
- (2) 競技1日目は以下のとおり実施する。
 - ① 各組3チーム、計16組のリーグ戦を行う。
 - ② 各組の組合せは、47都道府県を9つの地域※に分け、同じ組で同地域の都道府県が対戦しないこととする。
[※1 北海道、東北、関東、北信越、東海、近畿、中国、四国、九州]
 - ③ 競技3日目を4ブロックに分けてトーナメント戦を実施するため、16組を4組ずつA～Dのブロックに分ける。
- (3) 競技2日目は以下のとおり実施する。
 - ① 各組3チーム、計16組のリーグ戦を行う。
 - ② 各組の組合せは、競技1日目と異なる組合せとし、競技1日目の各組の1位チームと同一ブロック内のそれぞれ別の組の2位チーム、3位チームが対戦する。
 - ③ 競技2日目の各組の1位チームが、(2)③で示した競技3日目のA～Dのブロック別の決勝トーナメントに進出する。
- (4) 競技3日目は以下のとおり実施する。
 - ① 競技2日目の各組の1位チームによる A～D のブロック別の決勝トーナメントを行う。
 - ② ブロック別の決勝トーナメントは、準決勝および決勝を行い、3位決定戦は行わない。
 - ③ 各ブロックの1位チーム同士による順位決定戦は行わず、各ブロックの1位(計4チーム)を優勝チームとして表彰する。
- (5) リーグ戦は、8コートで行い、2組で1コートを使用する。

【男 子】

- (1) 各ブロック代表9チームに、開催県の1チームを加えた10チームを2組に分け、各組5チームによるリーグ戦を行う。
- (2) 競技1日目は、各組6試合目までを行い、2日目に各組残りの4試合を行う。
- (3) 各組の1位チーム同士による順位決定戦は行わず、各組の1位(計2チーム)を優勝チームとして表彰する。
- (4) リーグ戦は、2コートで行い、各組それぞれ1コートを使用する。

2. 競技規則等確認事項

- (1) 本交流大会は、2026年度公益財団法人日本バレーボール協会の定める6人制競技規則及び競技要項に準ずる。但し、特別に定める小学生バレーボール競技規則を採用することとし、大会実行委員会にて最終的に決定する。
- (2) 第1試合の開始時間は、10:00試合開始(プロトコール9:49)とする。
 - ① 2試合目以降は前の試合の終了後、ネット・コート点検を実施し競技委員の許可が出てからプロトコールに入る(追い込み方式)。
 - ② 連続して試合がある場合には、休憩10分後に合同練習とし、その後にプロトコールに入る。
- (3) 全試合にマッチ・ナンバーが付けてある。

- (4) 試合中のベンチにはエントリーした者が入る。競技場内(コートが整備されているフロア)への入場は、参加申込書に記載した者とする。
- (5) 試合開始前及び試合終了後の挨拶は、登録されている選手全員で行う。
- (6) 男子・女子ともにリーグ戦のラインジャッジ4名(ベンチ入りしている高学年の選手)及び点示2名または4名は出場チームで行うこととする。
 - ① 割当を確認の上、当該試合プロトコール開始時刻の5分前にはコート記録席に集合すること。
 - ② 服装についてはチームで統一されたものが望ましいが、施設内の温度などに考慮したものとする。
 - ③ 点示で団員が不足する場合は、チームスタッフにて対応する。
 - ④ ラインジャッジに使用するフラッグは主催者側で用意する。
- (7) 参加団員の変更及びプログラムの誤り等があれば、12月25日(金)の受付時に提出し、競技委員長から承認をとること。
- (8) リーグ戦のセカンドレフリーは帯同審判が行う。参加チームはスポーツ少年団登録システムにおいて各単位団の中から審判員を1名選出する。(「公認審判員」の資格を有するものが望ましいが、チーム内に資格保有者がいない場合は、指導者資格取得の際、審判についての講義を受講しているか、地区大会等で審判の経験のある者とする。)
 - ※ 公式な審判服の着用は不要だが審判ホイッスルは持参すること。(なお、審判服も可とする)
 - ※ ファーストレフリー・スコアラーは、原則として主催団体が用意した公認審判が行う。ただし、参加チームにスコアラーを依頼する場合もある。

3. 試合会場の割り当てについて

(女子)

ザ・ヒロサワ・シティ体育館(筑西市下館総合体育館)	3面
結城市かなくぼ運動公園総合体育館	3面
ゴヨーふれあいスポーツセンター(古河市三和健康ふれあいスポーツセンター)	2面

(男子)

ゴヨーふれあいスポーツセンター(古河市三和健康ふれあいスポーツセンター)	2面
--------------------------------------	----

4. その他

- (1) 試合会場では、試合該当チームのみが「応援幕」を1枚掲出することができるが、試合終了後は直ちに撤去しなければならない。また、掲出形態や横断幕の大きさは会場の規定により制限される場合がある。
 - ※ チームの「応援幕」を掲出する際は必ずロープ・ひもを使用して手すりに固定すること。ガムテープなど粘着テープの使用は認めない。掲出する際は、大会関係掲示幕やコート表示板等を覆うことがないように注意をすること。
- (2) 試合会場では、試合該当チームのみが「のぼり」を立てることができる。試合終了後は直ちに撤去し、他のチームの迷惑にならないようにすること。
 - ※ 個人名が記載されているものは認めない
 - ※ チームの「のぼり」を立てる際は必ずロープ・ひもを使用して固定すること。ガムテープなど粘着テープの使用は認めない。また、のぼりは観戦者の視界を遮ることのないように観覧席の最後部に立てること。
- (3) 応援は拍手と声援のみとし、応援グッズ等の使用は不可とする。

- (4) 参加者を守り、安全・円滑に大会を運営するため、本大会において写真・動画撮影を行う場合は、所定の撮影許可証を携帯する。なお、試合会場でのストロボ等を使用しての撮影など、大会の運営を妨げる行為、写真・動画の悪用・SNS 等への不適切な投稿等は禁止とする。
<アスリートへの写真・動画による性的ハラスメント防止の取り組みについて>
<https://www.joc.or.jp/about/savesport/>
- (5) 応援者へのマナー遵守の徹底は、監督から行うこと。
- (6) ベンチには、競技に必要な飲料水、タオル、応急処置用具など以外の競技に必要な物品は持ち込みを許可しない。選手やベンチスタッフは、スクイズボトルやワンタッチ式の蓋付き水筒等を使用することとし、ペットボトルおよびジャグタンクでの給水は禁止する。
また、携帯電話やトランシーバー、タブレット等の電子機器のベンチへの持ち込みは禁止する。